

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2019/3/13	2019/4/25	2019/5/9 正午	書類申請 郵送	公益財団法人伊藤 記念財団 平成31年度(2019 年度)研究助成	公益財団法人伊藤記念財団 〒153-8587 東京都目黒区三田一丁目6番21号 アルト伊藤ビル TEL:03-5720-8611 FAX:03-5720-8612 e-mail:office@itokenin-zaidan.or.jp https://www.itokenin-zaidan.or.jp/	対象とする研究又は調査の内容 「食肉に関する研究又は調査(品質・加工、食品の価値、食品安全、遺伝育種、繁殖、動物衛生、家畜飼養・飼料など)」とします。	助成の対象者 助成の対象者は、左欄に掲げる研究又は調査を行う大学等の研究機関に所属する者とします。	助成金額 1件当たりの助成金額は、概ね0万円以上200万円の範囲とします。	新元号2年(2020年)4月17日(金)までに助成研究調査成果報告書及び助成金の使途についての収支報告書を提出していただきます。
2019/3/13	2019/4/12	2019/4/26 24時まで	電子申請 web	【リバネス研究費】 ダスキン開発研究 所賞	リバネス研究費 https://r.lne.st/grants/	健康に繋がる、住みよい生活空間を実現する研究 清掃方法や衛生環境の評価、アレルギーの検出・除去、アレルギー疾患の予防など、ダスキン開発研究所の主要研究テーマである「清掃・衛生・健康」に関する研究を募集します。	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	研究費 50万円 + 家庭用エアコンクリーニングギフトカード(5 台分) ※自動掃除機能付き は対象外	記載無し
2019/3/13	2019/4/23	2019/5/7 18時まで	電子申請 web	【リバネス研究費】 池田理化再生医療 研究奨励賞	リバネス研究費 https://r.lne.st/grants/	ESC、iPSC、MSC等の幹細胞やその他の細胞を用いたヒト臨床を伴わない研究 再生医療の基盤を構築する上で必要な基礎研究(分子細胞生物学、細胞生物学、発生工学、組織工学、材料工学等)、再生医療の実現に必要な細胞製造・加工プロセスに関わる基盤技術研究、創薬技術への利用や病態解析等の応用研究の他、ここにない新規のアイデアも対象とします。	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	研究費上限50万円	記載無し
2019/3/13	2019/5/17	2019/5/31 24時まで	電子申請 web	【リバネス研究費】 フォーカスシステム ズ賞	リバネス研究費 https://r.lne.st/grants/	超スマート社会の実現に向けたデータ活用可能性を持つ研究全般 ものづくり、ロボティクス、モビリティ、IoT、人工知能、素材、バイオ、医療、ヘルスケア、食、農業、海洋開発、資源、環境、エネルギーなどの分野において、超スマート社会実現に向けたデータ活用可能性を持つ研究全般	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	研究費50万円+シス テム化に向けてのアド バイス	記載無し
2019/3/13	2019/3/26	2019/4/4~ 4/9 17時まで	電子申請 web	独立行政法人日本 学術振興会 第16回(平成31年 度(2019年度))日 本学術振興会賞受 賞候補者の推薦に ついて	〒102-0083 東京都千代田区麹町5 -3-1 独立行政法人 日本学術振興会 人材育成事業部 研究者養成課「日 本学術振興会賞」担当 TEL 03-3263-0912 FAX 03-3222-1986 https://www.isps.go.jp/isps-prize/	対象分野 人文学、社会科学及び自然科学にわたる全分野	国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げた者と認められる者のうち、平成31年4月1日現在、以下の1)から3)の条件を満たす者とします。 また、これまでにご推薦いただいた候補者のうちの女性割合は極めて低いというのが現状です。女性候補者の積極的な推薦をよろしくお願いいたします。	記載無し	記載無し
2019/3/13	2019/4/5	2019/4/19	電子申請 web	独立行政法人日本 学術振興会 国際 生物学賞委員会 第35回国際生物学 賞受賞候補者の推 薦について	国際生物学賞委員会事務局: 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-3-1 独立行政法人日本学術振興会 国 際生物学賞委員会事務局 E-Mail: i-biology@isps.go.jp https://www.isps.go.jp/i- biol/index.html	趣旨 昭和天皇の御在位60年と長年にわたる生物学の御研究を記念するとともに、本賞の発展に寄与されている今上天皇の長年にわたる魚類分類学(ハゼ類)の御研究を併せて記念し、生物学の奨励を図る。 授賞分野 昆虫の生物学 Biology of Insects	受賞者 生物学の研究において世界的に優れた業績を挙げ、世界の学術の進歩に大きな貢献をした研究者。原則として毎年1人とする。 選考 国際生物学賞委員会が毎年度選定する分野における研究者について、内外の関係学術機関・団体及び有識者からの推薦に基づき、国際生物学賞委員会の審査委員会が審査選考し、国際生物学賞委員会で決定する。	顕彰 受賞者には、国際生物学賞(賞状、賞牌及び賞金1,000万円)を授与する。また、例年、受賞者には賜品が下賜されている。	記載無し
2019/2/18	2019/3/22	2019/2/7~ 4/5	電子申請 Email	一般財団法人水源 地環境センター WEC応用生態研究 助成	一般財団法人水源環境センター 研究第三部研究助成担当 TEL 03-3263-9945 FAX 03-3263-9922 Email wec-kenkyu@wec.or.jp http://www.wec.or.jp/support/season/index.html	助成対象研究 ダムに係わる応用生態学の課題に 適応した研究に対して助成します。助 成の対象は、具体的な達成目標をも ち、今後の発展が期待できるテーマ のうち活用イメージが明確な研究と します。平成31年度募集課題は、「ダム 貯水池に係わる生態系・水環境(上下 流・周辺を含む。)に関する研究」、研 究分野としては「生態学、工学、及びそ れらの学際的な分野」とします。なお、 審査に当たっては、単なるダム貯水池を場とした生態学や工学 の研究ではなく、ダム貯水池やダムが ある河川の管理に有効な科学的知見 をもたらす新しい視点の研究を重要視 しますので、ご留意願います。	助成対象者 大学、高等専門学校等の学校、独立行政法人等の法人、地方公共団体、公益法人、民間企業、NPO法人及びこれらに付属する機関に所属する研究者で、十分な遂行能力を有する研究者を対象とします。特に、若手や民間組織の研究者の応募を歓迎します。 所属する法人組織において本研究助成に基づく研究費の受入・執行が可能であることについては、応募前に各自ご確認下さい。受入・執行が可能でない研究者は、助成の対象にはなりません。	研究1件につき、単年 度研究の助成額は10 0万円以内とします。 2ヶ年度研究の助成額 は総額150万円以内 (ただし、各年度100 万円以内)とします。	研究の期間は研究内 容等により、単年度ま たは2ヶ年度としま す。 なお、助成を受けた 研究(以下、「研究」と いう。)の期間は、原 則として助成採択後 から単年度または2ヶ 年度における年度末 までとします。
2019/2/18	2019/4/16	2019/4/1~ 4/30(1ヵ月 間)※当日消 印有効	書類申請 郵送	公益財団法人ひと ・健康・未来研究 財団 2019年度研究助成 の公募	公益財団法人ひと・健康・未来研究 財団 TEL/FAX 075-212-1854 Email hitokenkoumirai@inhf.or.jp http://www.inhf.or.jp	研究助成の趣旨 当財団の目的である、「ひとの健やか でこころ豊かな未来を実現するた めに、健全な食生活と予防医学に重 点を置いた研究、さらに自然との共 生を基本に、こころの健康をめざ した研究を振興し、もって国民の 健康増進と生活の向上に寄与す ること」を旨とする。こととを めざす研究に対する助成をおこな います。 公募テーマ 食品、環境、医学、福祉の研究の うち上記の目的にかなうテーマ	日本国内において上記テーマに関する研究を行う人	1件につき20万円~100 万円(助成金総額は 2,000万円を予定)	2019年9月~2020年8 月末までの1年間(研 究期間は原則1年間 とします)

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2019/2/18	①②③ 2019/7/17 ④ 2019/4/26	①②③ 2019/7/1～ 7/31 ④ 2019/5/17	電子申請 web	公益財団法人発酵研究所 ①2020年度一般研究助成・大型研究助成 ②2020年度若手研究者助成 ③2020年度寄付講座助成 ④2019年度研究者招聘・留学助成	公益財団法人発酵研究所事務局 TEL:06-6300-6555 FAX:06-6300-6814 e-mail:jimukyoku@ifo.or.jp URL:http://www.ifo.or.jp/	① 【研究課題】 ・微生物の分類に関する研究 分離・分類、保存 ・微生物の基礎研究 生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など ・微生物の応用研究 発酵、生理活性物質、プロバイオティクス、環境保全、バイオエネルギーなど ② 【研究課題】 ・①微生物の分類に関する研究 分離・分類、保存 ・②微生物の基礎研究 生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など ③ 【研究課題】 ・微生物の分類に関する研究 分離・分類、保存 ④ 【研究課題】 ・①微生物の分類に関する研究 分離・分類、保存 ・②微生物の基礎研究 生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など	① 一般 ・日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行っている個人 ・助成期間内に、本申請に関する研究で他から年間500万円以上の助成金・研究費を受けることが確定している場合は除く。 大型 ・日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行っている個人 ・助成期間内に、本申請に関する研究で他から年間1,000万円以上の助成金・研究費を受けることが確定している場合は除く。 ② ・助成開始時に日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行う個人 ・2020年4月1日現在、満35才以下の者 ・助成期間内に、他からの助成金・研究費を受けることを可とする。 ③ ・日本の国立大学、公立大学、私立大学のいずれかに属する部局(研究科、学部または研究所) ④ 助成対象 ・助成対象1:微生物に関する研究を行う目的で来日する外国人研究者 ・助成対象2:微生物に関する学会での発表を目的として来日する外国人研究者 ・助成対象3:微生物に関する研究を行う目的で外国へ留学する日本人研究者 いずれも2019年8月～2020年2月までの間に開始する者とする。	① 一般 300万円(一括払い) 大型 1,000万円(一括払い) 申請者の所属機関の経費(オーバーヘッド)は、助成の対象としない。 ② 300万円(一括払い) 研究費および生活費として支給する。 ③ 2億円(一括払い) 原則として間接経費は認めない。 ④ 助成対象1:最高25万円/月を支給し、助成期間は1年以内とする。 助成対象2:1名あたり20万円を限度として支給する。 助成対象3:助成対象1に同じ 渡航費は、別途、支給しない。	①2020年4月～2022年3月(2年) ②2020年4月1日～2022年3月31日(2年) ③2020年10月～2026年3月(5.5年) ④助成額欄を参照
2019/1/31	2019/3/29	2019/4/12 必着	電子申請 及び書類 申請	国立民族学博物館 平成31年度共同研究計画の募集	国立民族学博物館管理部研究協力課共同利用係 TEL 06-6878-8364 FAX 06-6878-8479 Email kyodo@minpaku.ac.jp http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/project/iurp/offer	共同研究(一般) カテゴリー1:新領域開拓型 文化人類学・民族学及び関連諸分野を含む幅広いテーマを対象とし、挑戦的で、新領域開拓につながる研究。基礎的研究や萌芽的研究も含む。 カテゴリー2:学術資料共同利用型 本館の所蔵する資料(標本資料、文献資料、映像音響資料等)に関する研究。 広い意味で展示につながる共同研究も含む。 共同研究(若手) カテゴリー1:新領域開拓型 文化人類学・民族学及び関連諸分野を含む幅広いテーマを対象とし、挑戦的で、新領域開拓につながる研究。基礎的研究や萌芽的研究も含む。 カテゴリー2:学術資料共同利用型 本館の所蔵する資料(標本資料、文献資料、映像音響資料等)に関する研究。 広い意味で展示につながる共同研究も含む。	共同研究(一般) 研究代表者が、代表して応募することとします。研究代表者は、大学その他の研究機関の専任の教授、准教授、講師、助教、助手、または、これと同等の研究能力があると館長が認めた者(ただし、本館以外の人間文化研究機構内の機関に専任教員として所属する者を除く。)です。長期海外出張等により実質上共同研究会の運営ができないことが見込まれる場合は、応募できません。 共同研究(若手) 研究代表者が、代表して応募することとします。研究代表者は、申請時39歳以下の研究者で、共同研究を遅滞なく遂行する能力をもつものとします。研究代表者以外の共同研究構成員の条件については、特に定めませんが、その趣旨に添い、基本的には研究代表者と同様の年齢層の若手研究者等て構成されるものとします。 長期海外出張等により実質上共同研究会の運営ができないことが見込まれる場合は、応募できません。また、本館以外の人間文化研究機構内の機関に専任教員として所属する者は応募することはできません。一度、本館の共同研究(若手)に採択され実施した者は、再度、共同研究(若手)では応募できません。	共同研究(一般) 研究代表者、共同研究員及び特別講師には、共同研究会の開催に要する交通費、日当、宿泊料が支給されます。また、必要に応じて、会場使用料(本館以外で開催の場合)を支給いたします。 共同研究(若手) 研究代表者、共同研究員及び特別講師には、共同研究会の開催に要する交通費、日当、宿泊料が支給されます。	共同研究(一般) 研究期間は初年度を10月スタートとし、2年半とします。延長は認められません。ただし、研究代表者が産前産後の休暇又は育児休業および介護休業のため、1年を超えて研究会を中断せざるを得ない場合は、届出により延長が認められます。 共同研究(若手) 研究期間は初年度を10月スタートとし、2年半とします。延長は認められません。ただし、研究代表者が産前産後の休暇又は育児休業および介護休業のため、1年を超えて研究会を中断せざるを得ない場合は、届出により延長が認められます。
2019/1/31	2019/3/15	2019/3/29	書類申請 郵送	公益財団法人大川情報通信基金 2019年度大川賞 大川出版賞(第28回)	公益財団法人 大川情報通信基金 TEL:03-3556-6028 / FAX:03-3288-2280 E-mail:okawa-foundation[at]nifty.com http://www.okawa-foundation.or.jp/index.html	大川賞とは情報・通信分野における研究、技術開発および事業において顕著な社会的貢献をされた方の功績を、その功績を表彰すると共に、情報・通信分野のさらなる発展と啓蒙に寄与することを目的とした国際賞です。 大川出版賞とは、情報・通信分野に関する優れた図書について、これを表彰すると共に、情報・通信分野のさらなる発展と啓蒙に寄与しようとするものです。	大川賞 原則として日本人の研究者1名、海外の研究者1名の2名を表彰します。 大川出版賞 2018年度は2015年1月1日以降に発刊されたものから、2、3件程度の図書を表彰します。	大川賞 賞状ならびに副賞として金メダル、賞金1,000万円が贈呈されます。 大川出版賞 著者に対して賞状ならびに副賞として銀メダル、賞金100万円が贈呈されます。出版社に対して、賞状及び賞牌が贈呈されます。	大川賞 2018年度受賞者は2018年9月頃に決定され、2018年11月に開催される贈呈式で表彰されます。 大川出版賞 2018年度の受賞図書は2018年9月頃に決定され、2018年11月に開催される贈呈式で表彰されます。
2019/1/17	2019/2/14	2018/12/20～ 2019/2/28 締切当日消印 有効	書類申請 郵送	井上春成賞委員会 井上春成賞候補技術推薦の依頼	国立研究開発法人科学技術振興機構総務部総務課 井上春成賞委員会事務局 電話048-226-5618 FAX048-226-5651 ホームページ:http://inouesho.jp/	対象技術 (1)大学、研究機関等の独自の研究結果であること (2)前項の研究結果を受けて企業が開発し、企業化した技術(販売実績があるもの)であること (3)科学技術の進展に寄与し、経済の発展、福祉の向上に貢献した技術であること (4)企業が実質的販売活動を始めてから、原則5年以内の技術であること	研究者あるいは企業等のうち、少なくとも一方が日本国籍である組み合わせにより企業化された技術であることを要件とします。	表彰内容・賞状 ・賞牌 ・研究奨励金100万円 (表彰対象技術ごとの研究者に対し、一般財団法人新技術振興渡辺記念会より贈呈)	記載無し
2018/12/11	-	2019/4/上旬 発表	-	《予告》 公益財団法人住友財団 2019年度環境研究助成課題研究募集課題	公益財団法人住友財団 TEL03-5473-0161 FAX03-5473-8471 Emailsumitomo-found@msi.biglobe.ne.jp URLhttp://www.sumitomo.or.jp	「深刻化する環境問題の理解および解決のための学際研究または国際共同研究」 国内における過疎化や高齢化、あるいは新興国や発展途上国における都市化や工業化などに伴い、国内外の各地域において様々な環境問題が深刻化しており、それらの問題の科学的な理解と根本的な解決が求められている。また、気候変動や海洋汚染などの地球規模の環境問題も深刻化しており、それらの問題への対処が求められている。本課題研究は、国内または海外の都市、農山漁村、災害被災地などにおける地域固有の環境問題の理解および解決に関する研究、あるいは激甚化する気候変動の影響など深刻な地球規模の問題の理解と解決に関する研究を対象とする。対象とする研究には、喫緊の環境汚染問題、深刻化する地球規模の環境問題、生物多様性の保全、再生可能資源・エネルギーの利用、持続可能な開発目標(SDGs)の達	詳細は2019/4/上旬に作成、配付予定及びHPからのダウンロードも可能になる予定	参考2018年度 一般研究1件当たり最大500万円、助成件数50件程度 課題研究1件当たり最大1,000万円、助成件数3件程度	詳細は2019/4/上旬に作成、配付予定及びHPからのダウンロードも可能になる予定

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2018/9/6	随時	随時	web参照	南相馬市 みなみそま復興 大学事業	南相馬市みなみそま復興大学事業 TEL0244-23-5511 http://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/29.html	<p>●シェアオフィス(最大30人程度)の無償貸し出し FreeWi-Fi、ホワイトボード、ロッカー等完備 ご利用時間月～土(日曜、年末年始を除く)10時から17時</p> <p>●レンタカーの無償貸し出し(燃料費は自己負担) ご利用期間:年末年始(12月29日～1月3日)を除き、いつでもご利用可能です。</p> <p>●宿泊施設の無償提供 ご利用期間:年末年始(12月29日～1月3日)を除き、いつでもご利用可能です。</p> <p>●補助制度 大学等が南相馬市内において、市の地域課題の解決に資する調査研究に要する経費に対し、補助金を交付いたします。 補助率:10/10(上限額30万円) 対象経費:報償費、旅費、需用費、役務費、委託費等</p> <p>●地域とのコーディネート 地域の住民、団体、企業等とのコーディネートやガイド、視察対応等、要望に応じて幅広くコーディネートいたします。</p>	<p>●補助制度について 大学等</p> <p>●各種支援の利用申込みについて 各種(シェアオフィス、宿泊施設、レンタカー)利用申込みについては、利用申込書にて利用開始予定日の2週間前までにお申し込みください。</p> <p>●申込み方法 お電話又はメールでお問合せください。 TEL:0244-23-5511 E-mail: fukkoudaigaku@city.minamisoma.lg.jp</p>	補助制度について 補助率:10/10(上限額30万円) 対象経費:報償費、旅費、需用費、役務費、委託費等	記載無し
2018/9/6	随時	募集期間 随時募集 申請から可否 の決定に至る までは3ヶ月程 時間をいただ いております	書類申請 郵送	公益財団法人日本 ユニフォームセン ター ユニフォーム基礎 研究助成	申請書提出先・問合せ先 〒107-0051東京都港区元赤坂1-4-21 公益財団法人日本ユニフォームセンター 『ユニフォーム基礎研究助成』係 TEL03-3401-2111 FAX03-3402-2667 http://www.nuc.or.jp/	<p>公募テーマ A)人工知能(AI)技術を用いた新しいユニフォームに関する研究 B)非接触型技術などの新しい身体測定に関する研究 C)ユニフォームの本人認証・物流管理、効率化のためのRFIDタグ活用に関する研究 D)防災・セキュリティに関連するユニフォームの研究 E)高視認性安全服、熱中症対策ユニフォームに関する研究 F)職場における女性活躍促進などに関するユニフォームの調査研究 G)ユニフォームの国内縫製の実態調査 H)ユニフォーム各分野の市場調査研究 I)諸外国におけるユニフォームの調査</p>	ユニフォームに関する諸研究全般に取り組んでいる個人及びグループ。(大学・専門学校などの教職員・学生・研究生及び一般)	助成件数・助成金額50万円～100万円/1件/1年	原則として1年間